



標高改正対応した地球儀の提供

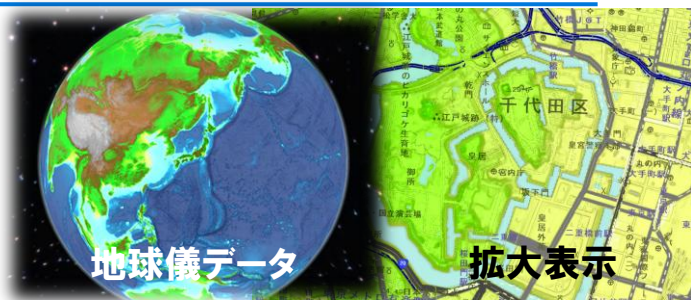
TerraExplorer Plus/Pro向けの地球儀データ

令和7年4月 全国の標高成果の改正に対応した地球儀データの提供

地球儀の提供

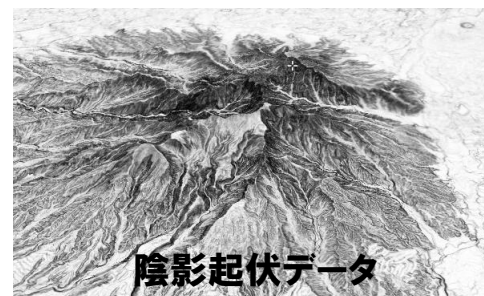
地球儀データ

地球儀データは、TerraExplorer Plus/Proの背景として利用するデータです。地形起伏や地図をわかりやすく表現するために、国土地理院の改正した5mと10mメッシュの標高成果を使用して地形起伏を再現し、その上に標高段彩と国土地理院の数値地図をマッピングしたものです。



陰影起伏データ

地球儀データと合わせて、陰影起伏図データを提供します。陰影起伏図は、改正した標高成果を用いて、陰影処理を行ったデータです。TerraExplorerを用いて日本全国の広域を対象に表示することが可能です。



標高成果の改正

国土地理院では、令和7年4月1日に電子基準点、三角点、水準点等の標高成果を、衛星測位を基盤とする最新の値「測地成果2024(JGD2024)」に改定しました。この改定では、地殻変動で累積した標高成果のズレ等を解消するとともに、衛星測位と陸海シームレスのジオイド・モデル「ジオイド2024日本とその周辺」を使用し、標高成果を改定されています。なお、測地成果2024は、標高のみを対象にした改正です。水平の位置を示す緯度・経度の値は2011年10月に改定された「日本測地系2011(JGD2011)」の測量成果である「測地成果2011」から変更されていません。詳しくは、[全国の標高成果の改定 | 国土地理院](#)のホームページをご確認ください。

測地成果2024の成果を利用する際の留意点

測地成果2024と測地成果2011は、地点によって数cm～最大±60cm程度の差が生じる可能性があります。そのため、測量成果など測地系に合わせ、以下のように地球儀データを使用してください。

- 測地成果2024の基準で取得したデータは、JGD2024の地球儀データを使用。
- 測地成果2011の基準で取得したデータは、JGD2011の地球儀データを使用。
- 測地成果2024と2011の成果を利用する場合は、基準となる測地成果を選定し、その基準に合わせた標高値の補正※を行い、基準に合わせた地球儀データに使用。

※：標高補正方法は、[全国の標高成果の改定 | 国土地理院](#)のホームページを確認ください。

申し込み方法

地球儀データの利用を希望される方は、以下のURLの問い合わせより申し込みください。

- 新規にTerraExplorerをご購入いただいたお客様には、JGD2011と2024の地球儀データを提供します。
- 既にTerraExplorerを購入され、保守を契約されたお客様は、利用可能です。申し込み後、地球儀データを提供します。
- 保守期間が終了したお客様は、保守契約を再契約いただくことで、利用できます。

お問合せは
こちらまで

株式会社パスコ 新空間情報事業部

<https://terraexplorer.jp>

